

病歴・就労状況等申立書（サンプル）

※このサンプルは読みやすくした簡易版です。

実際はご本人やご家族からのヒアリングに基づき、更に詳しく記載します。

医療機関：なし

期間：平成00年4月～平成00年0月頃

高校生2年の途中から、ささいなきっかけで無視や暴言などの嫌がらせを受けるようになった。

親にも相談できないまま、通学は続けていたが、気分の落ち込みや、不安感、焦燥感などがあった。

医療機関：なし

期間：平成00年4月～平成00年0月0月

平成00年4月、□□大学に入学。

半年ほど過ぎた頃から、幻聴や幻覚が始まった。

友人から「様子がおかしいので、病院に行ったほうがいい」と勧められた。

医療機関：◇◇医院

期間：平成00年0月0日～平成00年0月0日

平成00年0月0日、◇◇医院を受診。統合失調症と言われた。

調べてみたが、自分が統合失調症とは思えず、服薬後に倦怠感などが発生したことから、医師に騙されているのだと思って通院と投薬をやめてしまった。

投薬をやめてから、症状は悪化し、特に幻聴や妄想が酷くなった。

医療機関：△△病院

期間：平成00年0月0日～平成00年0月0日

平成00年0月0日、自室でハサミを振り回していたところを、家族が発見。△△病院に入院することになった。

【入院期間】平成00年0月0日～平成00年0月0日

退院後も△△病院への通院を継続した。

平成00年0月0日、復学。しかし、すぐに症状が悪化し、通学できなくなってしまった。

医療機関：心のクリニック〇〇

期間：平成 00 年 0 月 0 日～平成 00 年 0 月

平成 00 年 0 月 0 日、病院が遠距離で、外出もままならない身では通うのが困難だったため、近隣の心のクリニック〇〇に転院。

部屋で毎日横になって過ごした。

もう普通に戻れない。将来がなくなってしまったと絶望し、死にたいという気持ちが生じるようになった。

医療機関：心のクリニック〇〇

期間：平成 00 年 0 月～現在

起き上がる気力も湧いてこないため、通院時以外は 1 日のほとんどをベッドの中で過ごしている。

日常生活はほとんどを家族に任せている状態。

以上